

事業例

豊橋市バイオマス資源利活用施設整備・運営事業

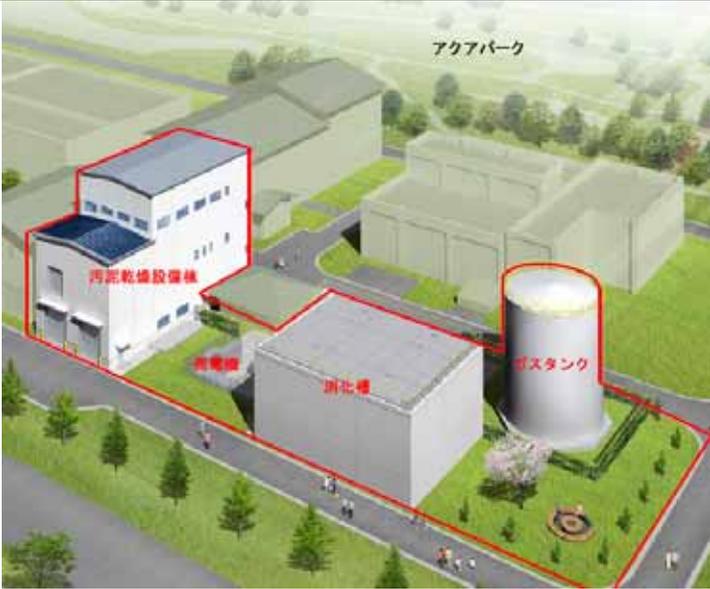
<http://www.city.toyohashi.lg.jp/12440.htm>

発注者	豊橋市(愛知県)	処理の概要	
施設概要	下水道汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみのバイオガス化施設	<p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 汚泥等をPFI事業により一元的に処理することによりコストを削減 バイオガスは民間事業者の提案する方法により利活用 発酵後汚泥は民間事業者の提案する方法により利活用 処理量削減により施設更新・管理費が削減 <p>出典: 豊橋市資料</p>	
事業内容	未利用バイオマス資源のエネルギー利用のため、中島処理場にメタン発酵施設を導入し、取り出したバイオガスの利活用を行う。		
事業期間	22年9か月(維持管理運営期間20年)		
VFM	55.0%(事業者選定時)		
契約金額	約148億円(別途金利変動及び物価変動等による増減額を加算)		
実施方針公表	平成25年11月25日		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみの処理を既存の中島処理場に一元化し、PFI事業として実施することにより、処理コストを削減。 ・微生物による発酵処理を行うことによりバイオガスを生成させ利活用を行う。利活用方法については民間事業者からの提案を求める。 ・発酵後汚泥について利活用を行う。利活用方法については民間事業者からの提案を求める。 		

事業例

黒部市下水道バイオマスエネルギー利活用施設整備運営事業

<http://www.city.kurobe.toyama.jp/event-topics/svTopiDtl.aspx?prev=1&servno=1124>

発注者	黒部市(富山県)	施設概観
施設概要	施設規模:2,050m ² バイオマスエネルギー利活用施設(混合槽、消化槽、発電設備、ボイラー等)、足湯	 <p>出典:黒部市HP</p>
事業内容	下水道汚泥等やコーヒー粕から発生するバイオガス利用による、汚泥乾燥施設及び場内電力利用のための発電施設等の整備、維持管理	
事業期間	17年(維持管理運営期間15年)	
VFM	約4.1%(特定事業選定時)	
契約金額	約36億円	
実施方針公表	平成20年1月31日	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・下水汚泥等と地域バイオマス(コーヒー粕)を活用したメタン発酵施設。 ・年間約100万m³生成されるバイオガスをエネルギー利用し、汚泥の乾燥燃料化や発電を行っている。 ・下水汚泥由来の乾燥物は、肥料登録され販売。また、発電所等の燃料としての活用に向けた取り組みを行っている。 ・発電した電力は施設の電力として利用し、使用電力50～80%を賄っている。 ・地域貢献を目的に、施設アメニティーとしてバイオガスを利用した足湯を設置。 ・下水道汚泥等濃縮汚泥量 : 25,810m³ / 年 ・地域バイオマス受入量 : 2,800m³ / 年 	

事業例

女川町水産加工団地排水処理施設整備等事業

http://www.town.onagawa.miyagi.jp/suisan_danchi_p4_old.html

発注者		女川町(宮城県)	施設概観
施設概要		敷地面積:4,050m ² 流入水量:2,000m ³ /日最大	
事業内容		排水処理施設の設計・建設・維持管理・運営、専用管渠の維持管理	
事業期間		約20年	
VFM		-	
契約金額		約25億円(税込)	
実施方針公表		平成25年7月31日	
特徴	<ul style="list-style-type: none">・水産加工団地を整備する計画に基づき、水産業関連施設からの排水を一元的に処理(浄化)・管理する排水処理施設を整備し、水産関連事業者が共同利用することにより、環境への負荷を低減し漁場を保全。・維持管理・運營業務については、排水事業者から徴収する使用料収入によって当該業務に係る経費の全てを賄う独立採算制を原則。		出典:女川町資料